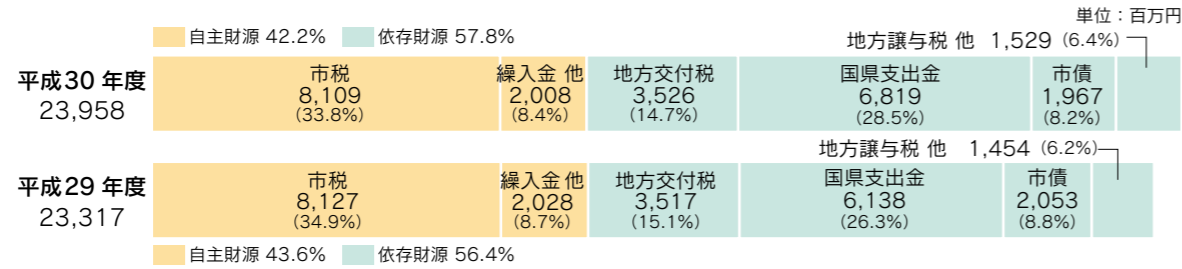


# 一般会計

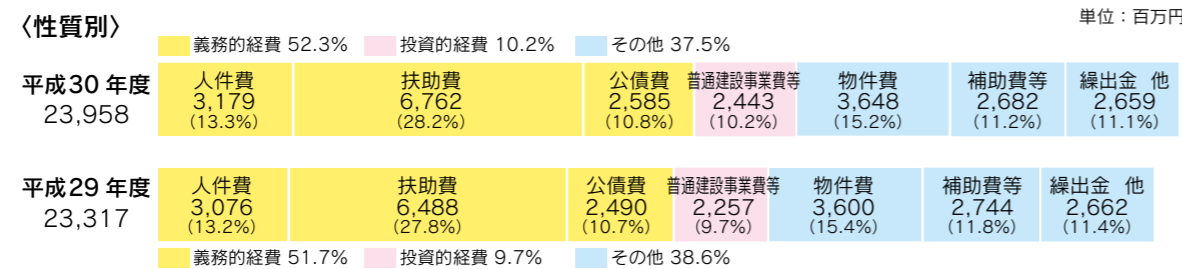
歳入



歳入の根幹となる市税については、国の示す地方財政計画などを参考に算出し、全体としては対前年度比約1,720万円減(0.2%減)の81億952万7千円を見込んでいます。

なお、平成26年4月に引き上げられた地方消費税収分については、本年度もその全てが社会保障施策に要する経費に充てられます。

歳出



| 区分  | 平成30年度 | 平成29年度 | 差引増減 |
|-----|--------|--------|------|
| 総務費 | 2,666  | 2,677  | ▲11  |
| 民生費 | 10,506 | 9,932  | 574  |
| 衛生費 | 1,587  | 1,606  | ▲19  |
| 土木費 | 1,987  | 1,627  | 360  |
| 消防費 | 908    | 838    | 70   |
| 教育費 | 2,936  | 3,271  | ▲335 |
| 公債費 | 2,586  | 2,490  | 96   |
| その他 | 782    | 876    | ▲94  |
| 合計  | 23,958 | 23,317 | 641  |

性質別に見ると、普通建設事業費等の投資的経費が8.3%増となったものの、人件費、扶助費、公債費の義務的経費がそれぞれ増となり、歳出全体に占める義務的経費の割合は前年度より0.6ポイント大きい52.3%となりました。

目的別に見ると、民生費は私立保育所整備交付金の増などにより5億7,422万円増、土木費は道路改良事業などにより3億5,959万3千円増となった一方で、教育費は史跡地公有化事業の減や中央公民館改修事業の終了などにより3億3,446万6千円の減となっています。

# 企業会計

## 水道事業

- ◇業務の予定量
  - ・給水戸数 2万5,588戸
  - ・年間総給水量 578万3,060m<sup>3</sup>
  - ・1日平均給水量 1万5,844m<sup>3</sup>
- ◇主な建設改良事業
  - ・浄水施設改良工事 112万2千円
  - ・配水管新設工事 1億6,000万円
  - ・配水管布設替工事 1億2,000万円
  - ・配水施設改良工事 118万8千円
  - ・貯水施設改良工事 364万5千円

## 下水道事業

- ◇業務の予定量
  - ・排水戸数 3万89戸
  - ・年間総排水量 766万5,000m<sup>3</sup>
  - ・1日平均排水量 2万1,000m<sup>3</sup>
- ◇主な建設改良事業
  - ・単独事業 2億345万6千円
  - ・補助対象事業 1億5,540万円
  - ・流域下水道事業費負担金 6,150万円

| 会計名     | 平成30年度(A) | 平成29年度(B) | 増減額(C) (A)-(B) | 伸率(C)/(B) |      |
|---------|-----------|-----------|----------------|-----------|------|
| 水道事業会計  | 収益的収入     | 1,445,111 | 1,443,231      | 1,880     | 0.1  |
|         | 収益的支出     | 1,284,500 | 1,216,085      | 68,415    | 5.6  |
|         | 資本的収入     | 38,452    | 29,302         | 9,150     | 31.2 |
|         | 資本的支出     | 732,465   | 571,686        | 160,779   | 28.1 |
| 下水道事業会計 | 収益的収入     | 1,878,856 | 1,865,599      | 13,257    | 0.7  |
|         | 収益的支出     | 1,433,512 | 1,478,949      | ▲45,437   | ▲3.1 |
|         | 資本的収入     | 433,359   | 377,785        | 55,574    | 14.7 |
|         | 資本的支出     | 1,363,324 | 1,272,420      | 90,904    | 7.1  |

# 平成30年度 当初予算

問い合わせ 経営企画課 (☎内線 503)

平成30年度予算は、3月議会で審議・可決された予算に加え、6月議会で政策的事業などの予算が審議・可決されましたので、その主な内容をお知らせします。

※各数値は端数処理をしていますので、合計が合わないことがあります。

## 各会計歳入歳出予算総括表

| 会計名             | 平成30年度(A)  | 平成29年度(B)  | 増減額(C) (A)-(B) | 伸率(C)/(B) |
|-----------------|------------|------------|----------------|-----------|
| 一般会計            | 23,957,893 | 23,316,800 | 641,093        | 2.7       |
| 特別会計            |            |            |                |           |
| 国民健康保険事業特別会計    | 7,076,623  | 9,044,019  | ▲1,967,396     | ▲21.8     |
| 後期高齢者医療特別会計     | 1,200,055  | 1,171,055  | 29,000         | 2.5       |
| 介護保険事業特別会計      | 5,062,415  | 4,888,503  | 173,912        | 3.6       |
| 保険事業勘定          | 5,010,274  | 4,859,267  | 151,007        | 3.1       |
| 介護サービス事業勘定      | 52,141     | 29,236     | 22,905         | 78.3      |
| 住宅新築資金等貸付事業特別会計 | 534        | 515        | 19             | 3.7       |
| 小計              | 13,339,627 | 15,104,092 | ▲1,764,465     | ▲11.7     |
| 合計              | 37,297,520 | 38,420,892 | ▲1,123,372     | ▲2.9      |

※詳細についてはホームページに掲載している各会計の予算書をご覧ください。

## 市債と基金(借金と貯金)

市債残高の主なものは、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債(償還時にその全額が交付税で賄われる)と、史跡地公有化事業債(償還時にその95%が補助金で賄われる)で、全体の約6割を占めています。

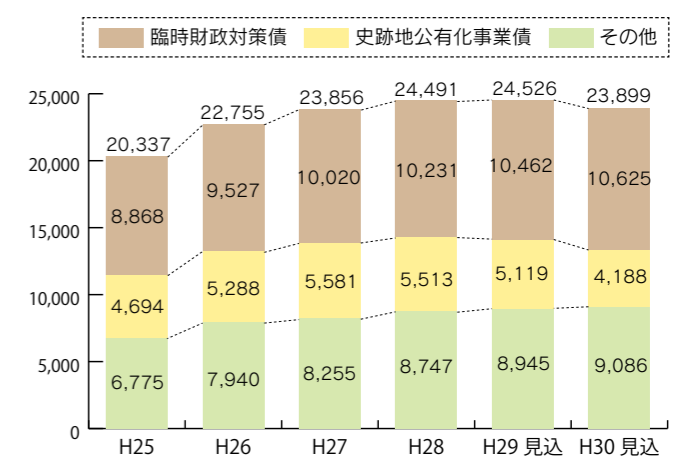
市債残高は、近年の大規模な事業が完了し、一時期の増加傾向からは脱したところですが、

しかし、今後も老朽化した各公共施設の更新など各種事業において市債の新規発行が見込まれることから、可能な限り後年度の元利償還に対し、交付税や補助金で措置される有利なものを選択し、適時繰上げ償還を行うなど、財政面への負担軽減を図ります。

一方基金は、国民健康保険事業特別会計の累積赤字の補てんに充てるために取り崩したことなどから、基金全体として減少していますが、決算剰余金を積み立てるなど、今後も基金の確保に努めます。

※本市の平成30年度普通会計は、一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計です。

## 市債残高の推移(普通会計)



## 基金残高の推移(普通会計)

